

TOPICS

01 ● Honda Cars 三河 四輪販売会社と保育園を併設する企業との連携による幼児への交通安全活動

Honda Cars 三河は本社のある愛知県岡崎市をはじめ豊田市、安城市に5拠点を展開する四輪販売会社である。同社は愛知中央ヤクルト販売(株)(本社:愛知県半田市)と連携し、幼児への交通安全活動をスタートさせた。ヤクルト製品の販売を手がける愛知中央ヤクルト販売は、ヤクルトレディの勤務拠点11ヵ所に保育ルームを併設し



愛知中央ヤクルト販売(株)はヤクルトレディの勤務拠点で保育ルームを運営している

ている。Honda Cars 三河では、この保育ルームにスタッフを派遣し、交通安全教育プログラム「あやとりい* ひよこ編(以下、あやとりい)」を使った交通安全教室を行うことにした。その背景をHonda Cars 三河 営業企画部部長の蓮川利幸さんは次のように話す。「継続的にできる社会貢献活動を検討していたところ、『あやとりい』の存在を知り、安全運転普及本部から指導ノウハウの提供を受けました。実施にあたり、販売拠点周辺の保育園にはたつきかけていた時に、愛知中央ヤクルト販売に賛同していただくことができ、連携することになったのです」。

その第一歩として、Honda Cars 三河は10月28日、愛知中央ヤクルト販売が運営するプティット岡崎 保育ルームで交通安全教室を実施。指導者役を務めるのはHonda Cars 三河 岡崎六名南店カーライフアドバイザーの高梨春菜さんと、杉浦礼耶さんが担当した。「あやとりい」のワークシートを使い、子どもたちに問いかけながら道路を歩くべき場所や歩行者用信号機の色の意味を説明。道路を横断する前は、左右をよく観るために必ず止まることを教えた。

二人とも交通安全教室は今回が2回目。1回目は子どもたちの予想外の答えに上手く対応できなかったそう。高梨さんは「台本を暗記することに夢中になり、伝えたい内容をきちんと理解できていなかったことを痛感しました。業務の合間に、営業や



Honda Cars 三河 営業企画部部長の蓮川利幸さん(写真中央)、岡崎六名南店カーライフアドバイザーの杉浦礼耶さん(写真左)、高梨春菜さん(写真右)

プティット岡崎 保育ルームで実施された「あやとりい」交通安全教室



サービスのスタッフに幼児役になってもらい、ワークシートの各場面でおさえるべきポイントを意識しながら練習を繰り返しました。その成果もあって、今日とはまどうことがありませんでした」という。杉浦さんは「子どもたちに注目してもらえるよう、一人ひとりの目を見ながら話すことや、身振りや手振りを大きくすることを心がけました。今回は子どもたちと上手くコミュニケーションがとれ、私自身も楽しいと感じることができました」と指導者役としての自信を深めていた。

プティット岡崎 保育ルーム・施設長の 大里房美さんは「いろいろなイラストを使っ

ていたので、子どもたちも喜んで聞き入っていました。幼児にも、わかりやすい内容だったと思います。これからはHondaによる交通安全教育をお願いしたい」と感想を語ってくれた。

Honda Cars 三河は、5拠点合わせて10名のスタッフを「あやとりい」の指導者として養成している。今回を皮切りに、月1回のペースで愛知中央ヤクルト販売が運営する各保育ルームで交通安全教室を実施していく考えだ。

*あやとりい= Honda が三重県鈴鹿市と協力して開発した交通安全教育プログラム。幼児～小学校低学年対象の「あやとりい ひよこ編」、小学3～4年生対象の「あやとりい」、幼児～小学校高学年対象の「あやとりい 自転車教室」、高齢の歩行者・自転車利用者対象の「あやとりい 長寿編」がある。「あやとりい」は「あんぜんを やさしく ときあかしりかいていただく」の略。詳細は以下ホームページを参照。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/ayatorii/>



二輪「コーススラローム」

10月20日、21日の両日、鈴鹿サーキット交通教育センター(三重県鈴鹿市)にて、「第17回セーフティジャパンインストラクター競技大会」が開催された(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部)。この大会は、安全運転普及の各分野で活躍するHondaの安全運転インストラクターの指導力ならびに運転技術の向上と均質化を図る場と機会の提供を通じ、世界に通用するインストラクターの育成を目的に1997年よ

02 ●第17回セーフティジャパンインストラクター競技大会 9カ国72名のインストラクターが指導力と安全運転技術を競う

四輪「フィギア」



り開催されている。今回は国内から42名、海外はシンガポール、タイ、ベトナム、インド、インドネシア、マレーシア、トルコ、台湾、オーストラリアの9カ国から30名、総勢72名が参加した。

選手は、グループA(国内交通教育センター)、グループB(Honda国内事業所)、グループC(Honda海外事業所)に分かれて、安全運転の知識、技量、スキルをはか

る競技や審査に取り組んだ。競技は、二輪部門「ブレーキング」「コーススラローム」「一本橋」、四輪部門「フィギア」「ブレーキング回避」「コーススラローム」、および「指導力審査*」(グループA・B)、「筆記レポート」(グループC)に取り組んだ。

また、同大会に先立ち10月19日には「海外事業所安運活動情報共有会」を開催。日



「指導力審査」

本を含む大会参加国の10カ国からHonda事業所の安全運転普及活動推進責任者42名が参加し、各国の安全運転普及活動について情報共有が行われた。



海外事業所安運活動情報共有会

*指導力審査=安全運転の指導者としての幅広い知識と指導力を確認することが目的で、インストラクター3名1組がそれぞれメインインストラクター・サブインストラクター・受講者役となり、与えられたテーマについての指導方法を競う。

03 ●第3回「Honda交通安全ポスター・動画コンテスト」結果発表 ポスター4作品、動画4作品が入賞!

Hondaでは昨年に引き続き、今年も7月から9月にかけて「交通安全ポスター・動画コンテスト」を実施した。今回のテーマは「未来の安全な交通社会～事故のない未来をあなたが作る」。「クルマやバイク、自転車がこうなったらもっと安全になるのでは?」ということをもとにポスターや30秒の動画として表現してもらい、コンテストを実施した。Honda社内での厳正な審査の結果、ポスター4作品、動画4作品が入賞作に輝いた。入賞作品は、Hondaのホームページで公開されている。

<ポスターの部>
大賞:滋賀県 平岡さん
優秀賞:千葉県 高岡さん、兵庫県 曲淵さん
Honda賞:福岡県 戸次さん

<動画の部>
大賞:愛知県 レンコンさん
優秀賞:東京都 デルタキッズさん、愛知県 笹下さん
Honda賞:静岡県 鈴木さん・青野さん・杉山さん・溝口さん(静岡大成高等学校放送部)

ポスターの部・大賞



動画の部・大賞